

# 唐丹文芸

「やちやく」詠草

降りふらず梅雨のさなかに山形のいとこら集いて三回忌に寄る  
久々に近況伝えるいとこらの山形なまり亡夫頭ちて聞くや

あわず沼悲恋のロマン永遠に秘め峰を重ねて泣く鹿の声  
梅雨にぬれより艶やかに紫陽花の輝くさまは弥陀のみこころ

言い伝う悲恋の由来の逢わず沼はレンゲツツジの確かな群落  
春蟬の幾万なきたるあび沼に身を染む緑に包まれてきく

美和ちゃんの追悼文集読むわれにも言わざりし貴女の声する  
やりたい事やるべき事の多ければ老いに甘える暇などなし

夏を咲き香りゆかしきあんな花思ひ出の友は逝きてかえらず  
山々の浅き緑を白煙のおおいゆくがに海霧の這う

咲きつづく百合のいろどりはなやかにカサブランカの白ひたすら香る  
釣られるて厨の主の顔したる播粉木おろし鱈をすりたり

生前に君が給ひしシンピジューム今年も咲きぬ君を偲へと  
春の陽を浴びつつひとり奥津城に草取りをれば山鳩の鳴く

## 唐丹短歌会

須具 美佐子

磯崎 彬

上野 ウタ子

大津 秀子

川原 セイ

環 あき

高橋 昌子

## 梅花講員の募集

私たちは曹洞宗梅花流詠讃歌を通して、正しい信仰に生きます。  
私たちは曹洞宗梅花流詠讃歌を通して、仲よい生活をいたします。  
私たちは曹洞宗梅花流詠讃歌を通して、明るい世の中をつくります。

梅花講の日時

毎月17日 午後1時 盛岩寺本堂にて  
第4日曜日 午後1時 盛岩寺本堂にて

お申し込みは下記へ連絡下さい

55-2167番 (長根節子) 55-2174番 (盛岩寺)